



安城市議会議員 石川つばさ通信 号外

# 市政レポート

## 勤労福祉会館廃止問題①

### 苦しい答弁



9 月議会は 2 日と 5 日に一般質問が行われ、11 人の議員が登壇しました。私を含め、3 人の議員が勤労福祉会館の廃止問題を取り上げ、同問題の重要性が改めて浮き彫りになりました。

11 月 5 日、事業仕分けの様な「公開行政レビュー」というものが開催されました。多数の評価員が勤労福祉会館を「廃止」と評価しましたが、判断の基となったデータそのものが廃止に誘導するもので、間違っていないものの中立性に欠ける内容でした(次号で詳細)。評価員は貸館機能としての勤労福祉会館を廃止と判定したものの、建物自体の解体を望む声は少数で、避難所や子育て関連施設として活用を模索する発言が多く飛び交いました。これを受け市は、解体ありきでなく今後の在り方を検討すると締めくくりました。

ところが、公開行政レビューから一週間足らずで、議員のもとに南明治未整備地区の整備方針(案)が送られてきました(つまり区画整備後の地図)。それによると、勤労福祉会館は消滅し、代わりに公園が建設されています。これにより、解体ありきで事が進められようとしていることが裏付けられました。

市は、「**区画整理が勤労福祉会館の存廃に直接影響を及ぼすことはない。移転補償物件になる、ならないに関わらず、他の用途への転用の可能性や維持管理費などを総合的に判断して、取り壊しも視野に入れ、検討する。**」としています。区画整理と会館の存廃が関連した問題であるというのは、会館の廃止(あるいは解体)に賛成か反対かを問わず共通した認識です。上記の答弁は極めて苦しいと言わざるをえません。

※本件については次号も継続してお伝えします。

石川翼事務所 446-0072 安城市住吉町荒曾根 1-245 アワーズビル 2F 南  
電話 0566-98-6932 メール [ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp](mailto:ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp)

編集：石川つばさを支援する会